

人・模・様

「みやぎ会津会」創立10周年

宮城県内の福島・会津出身者らでつくる「みやぎ会津会」が創立10周年を迎え、1月末に仙台市内で記念総会を開き、村井嘉浩・宮城県知事ら約130人が出席した。須佐尚康会長(69)＝写真中央＝は「宮城と福島懸け橋を目指し、会をさらに発展させたい」と話した。

「みやぎ会津会」は会員約200人で、福島県の情報発信や東日本大震災の復興支援などを行っている。東京から、会津



松平家14代目、松平保久さん(62)の妻、由布子さん(45) 同左 同、長男で15代目の親保さん(18) 同右 同も出席。今春、

早稲田大に入学する親保さんが、父親の祝辞を代読した。

旧会津藩は1868年の戊辰戦争^{ぼしん}で、幕府側の中心として戦ったが、敗北後苦難の歴史をたどった。須佐会長は「2018年は、戊辰戦争から150年の大きな節目の年となる。苦難の日々を乗り越えた祖先の英知に学びながら、会津の優れた文化や歴史を次の世代にもきちんと引き継いでいきたい」と、抱負を語った。

【江森敬治】